

## 【令和3年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証(案)						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点(●)</li> </ul>	自己評価							
01	<p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、薬剤師等医療従事者の確保、定着を図る。</p> <p>特に、医師の勤務条件を緩和するため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下呂温泉病院勤務医師、岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置している地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成</li> <li>・ 定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の定年延長及び再雇用</li> <li>・ 医師募集エージェントへの登録</li> <li>・ 医療ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる非常勤医師の活用</li> <li>・ 医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者の充実</li> <li>・ 地元出身者や地元関係者への働きかけ</li> </ul> <p>看護師負担の軽減のため、ポーター制度の継続、パートナーシップ・ナーシング・システム(PN</p>	<p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保</p> <p>○ 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度は4月から内科医1名、10月から小児科医1名を常勤医として確保した。また、前年度に引き続き臨床研修医2名を確保することができた。</li> <li>・ 内科は1年間、小児科は上半期を通し、各1名を専攻医として確保できた。</li> <li>・ 医師募集エージェントへの登録(インターネット等の活用)</li> </ul> <p>昨年度に引き続き募集情報を登録 8社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常勤医不在の診療科(耳鼻咽喉科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに対応した医療の推進を図った。</li> </ul> <p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,793回</td> <td>1,498回</td> <td>1,452回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護部において、ワークライフバランス(WLB)推進を継続し、年休の取得しやすい月を割り出して取得推進を図った。 全看護職員の令和3年度年休取得数は平均7.2日であり、部署毎の個人平均で比較すると最小6.9日、最大12日と大きな差があり、支援体制の充実に課題が残った。</li> <li>・ 看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に、「PNS(パートナーシップ・</li> </ul>	R1	R2	R3	1,793回	1,498回	1,452回	III	限られた医療人材で質の高い医療の提供に努めている。
R1	R2	R3								
1,793回	1,498回	1,452回								

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>																																																													
	<p>S) の定着、プラチナナースの活用及び看護補助者の適正配置など支援体制の充実を図る。また、看護体制維持に必要な看護師数の確保を図るため、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進、再就職支援者研修及び学校訪問などに取り組む。薬剤師確保の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学部のある大学教員や薬学生との交流や行事などへの参加の推進</li> <li>・地元出身者及び地元関係者への働きかけ</li> <li>・病院ホームページや地域情報誌などを通じた情報発信</li> <li>・薬剤業務補助者の活用による薬剤師の負担軽減及び病棟業務やチーム医療への業務展開の維持・推進</li> <li>・薬剤師募集エージェントへの登録</li> </ul> <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <p>感染対策チーム（ICT）及び抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動を充実させ、医療関連感染と職業感染の低減を図るため、以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員への啓発と環境整備による手指衛生行動の向上</li> <li>・職員教育と対策実施状況の点検による標準予防策と感染経路別予防策の強化</li> <li>・針刺し等血液曝露予防の啓発と、職員ワクチン接種プログラムによる職業感染防止の推進</li> <li>・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動による抗菌薬適正使用の推進</li> </ul> <p>また、アウトブレイクや重大な院内感染事例が発生した場合には、状況把握と疫学調査により対応し、感染拡大・再発防止策を講じるとともに、県民への適正な情報提供に努める。</p>	<p>ナーシング・システム）」を引き続き実施するとともにPNSが適切に機能しているかの観点から監査（監査方法については、令和3年度は前年度の問題点の改善状況に焦点を絞り、人員と時間の縮小を図った。）を実施した結果、大きな問題点は無く、改善されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラチナ看護師はPNS看護体制の補完として、慢性期を中心に配属できるよう検討した。</li> <li>・WLB推進事業委員会を中心に育児懇談会を毎年実施しているが、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響で懇談会を中止した。令和3年度もお便りを作成して配布し、育児休業明けの看護師の不安軽減に努めた。</li> <li>・法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保に努めた。</li> <li>・再就職支援者研修を2回計画したが、応募者がなかったため実施しなかった。看護師等に係る採用活動の実績</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員（1人）が充足できない状態が続いている今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。（●）</p> <p>コメディカル（常勤）採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	職種別	R 1	R 2	R 3	常勤	看護師	6	7	5	助産師	-	-	-	保健師	-	-	-	非常勤	(専門業務) 看護師	8	7	4	(業務補助) 看護師	1	-	-	(専門業務) 看護補助者	1	1	-	(業務補助) 看護補助者	2	-	-	職種別	R 1	R 2	R 3	薬剤師	2	0	0	臨床検査技師	1	5	0	臨床工学技士	0	1	0	診療放射線技師	2	0	0	理学療法士	0	0	0			
職種別	R 1	R 2	R 3																																																												
常勤	看護師	6	7	5																																																											
	助産師	-	-	-																																																											
	保健師	-	-	-																																																											
非常勤	(専門業務) 看護師	8	7	4																																																											
	(業務補助) 看護師	1	-	-																																																											
	(専門業務) 看護補助者	1	1	-																																																											
(業務補助) 看護補助者	2	-	-																																																												
職種別	R 1	R 2	R 3																																																												
薬剤師	2	0	0																																																												
臨床検査技師	1	5	0																																																												
臨床工学技士	0	1	0																																																												
診療放射線技師	2	0	0																																																												
理学療法士	0	0	0																																																												

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>																											
		<table border="1"> <tr><td>作業療法士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。 ※薬剤師については、元年度に2人退職のため、増員となっていない。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績</p> <table border="1"> <tr><th>職種別</th><th>R 1</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr><td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む</p>	作業療法士	0	0	0	言語聴覚士	0	1	0	管理栄養士	0	0	0	社会福祉士	0	0	1	職種別	R 1	R 2	R 3	(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	1			
作業療法士	0	0	0																										
言語聴覚士	0	1	0																										
管理栄養士	0	0	0																										
社会福祉士	0	0	1																										
職種別	R 1	R 2	R 3																										
(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	1																										
03	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤医師対応の診療科（耳鼻咽喉科、眼科等）の充実</li> <li>・生理検査（超音波検査）、感染症迅速検査、液状化細胞診など検査業務の充実</li> <li>・手外科のリハビリテーション、ボトックス治療後のリハビリテーション及びがん患者の緩和リハビリテーションの充実</li> <li>・発達障がい児に対する個々の能力に応じた感覚統合療法、言語聴覚療法の実施など、専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの充実（地域療育システム支援事業への協力、特別支援学校・保育園への療育支援）</li> <li>・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用した摂食機能評価の実施</li> <li>・午後5時以降の夜間透析の実施</li> </ul>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月から新たに産婦人科医1名を非常勤医（週40時間勤務）として確保し、診療の充実を図った。</li> <li>・病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな対応に努めた。</li> <li>・外来や救急外来での外国人患者に対応するため、令和2年度に引き続き通訳用専用端末の台数を増やし、円滑な診療体制の維持に努めた。</li> <li>・疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き午後5時以降の夜間透析や小児リハビリ、手外科リハビリに取り組んだ。</li> <li>・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用し、摂食嚥下機能評価を実施した。</li> </ul> <p>(患者数)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr> <tr><td>夜間透析</td><td>6名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr> <tr><td>小児リハビリ</td><td>48名</td><td>56名</td><td>67名</td></tr> <tr><td>手外科リハビリ</td><td>45名</td><td>30名</td><td>22名</td></tr> </table> <p>(摂食嚥下機能評価)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>R3</th></tr> <tr><td>造影検査（VF）</td><td>75件</td></tr> <tr><td>嚥下内視鏡検査（VE）</td><td>75件</td></tr> <tr><td>摂食嚥下機能評価入院</td><td>1件</td></tr> </table>	項目	R1	R2	R3	夜間透析	6名	4名	4名	小児リハビリ	48名	56名	67名	手外科リハビリ	45名	30名	22名	項目	R3	造影検査（VF）	75件	嚥下内視鏡検査（VE）	75件	摂食嚥下機能評価入院	1件	Ⅲ	採算性が取れない医療でも、適切に住民の希望を叶えている点は評価できる。	
項目	R1	R2	R3																										
夜間透析	6名	4名	4名																										
小児リハビリ	48名	56名	67名																										
手外科リハビリ	45名	30名	22名																										
項目	R3																												
造影検査（VF）	75件																												
嚥下内視鏡検査（VE）	75件																												
摂食嚥下機能評価入院	1件																												

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己 評価							
05	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として軽症・中等症患者の受け入れのための専用病床を確保し、患者を受け入れるとともに、以下のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発熱外来・検査体制の充実（発熱外来・ドライブスルー検査）</li> <li>・ 飛騨南部・受診相談センターによる相談体制の充実</li> <li>・ 下呂市及び下呂市医師会との連携・協力による新型コロナウイルスワクチン接種への対応</li> </ul> <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進 総合健診センターについて新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防対策に万全を期すことを前提としながら、次のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下呂市及び岐阜県などと連携し、がん検診の精度管理の向上を図る。</li> <li>・ 総合健診センターが用意している健診コース等が広く利用されるよう改めてPRに努める。</li> <li>・ 生活習慣病の発症予防と重症化予防</li> <li>・ 健診受診後の特定保健指導等での働きかけや精密検査の受診勧奨などのきめ細かい事後対応</li> </ul> <p>また、認知症の早期診断方法の普及を図るとともに、地域と連携し、リハビリテーションを組み合わせた認知症予防対策を推進する。</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として軽症・中等症患者の受け入れのための専用病床を確保（フェーズ0：10床、フェーズ1：20床、フェーズ2：38床、フェーズ3：62床）し、コロナ入院患者288名（R2.11月からの累計）の患者の受け入れを行った。（令和3年度245名）</li> <li>・ 飛騨圏域宿泊療養施設の保健医療班として看護師を派遣するとともに、飛騨市の新型コロナウイルス感染症の受け入れを行った。</li> <li>・ 下呂市の集団ワクチン接種へ看護師・薬剤師を派遣した。</li> <li>・ 発熱外来を開設し、PCR検査、抗原検査を実施した。（PCR検査1,599件、抗原検査1,048件）</li> <li>・ 下呂市と協力し、個別予防接種を毎週金曜日実施した。（12歳以上102件、12歳未満26件）また、下呂温泉観光協会・下呂市建設業協会等の関係者を対象とした職域接種を受託し、計3回の接種を行った。（2,384件）</li> </ul> <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、開始時期は例年並みに戻して、健診業務を進めた。 検査の内容については、昨年度に引き続き、人間ドック等に係る肺機能検査の実施を見合わせたが、受診者数については全体として堅調に推移し、ほぼ前年度の水準を維持した。 協会けんぽの健診については138件増加した。 下呂市の健診については、平成26年度以降、当院で旧下呂町（6地区）の住民健診を実施し、平成28年度からは下呂市乳がん、前立腺がん検診を受託するなど、健康診断受診率の向上と予防医療の推進を図っているが、特定健診・すこやか健診とも1割以上件数が減少した。 また、昨年度に引き続き、勤労者のために「日曜健診」を2回実施し、50名の受診者を受け入れた。日曜健診に関して、初めて受診動機などのアンケートを実施した結果、約75%の方から「平日に仕事を休んで受診することは困難」という回答があった。</p> <p>日曜健診の実施人数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69名</td> <td>81名</td> <td>50名</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度より引き続き子宮細胞診及び喀痰細胞診について検査方法などの見直しにより精度の向上を図った。</p>	R 1	R 2	R 3	69名	81名	50名	IV	<p>重点医療機関として、多くの新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている点は十分評価でき、予防接種やPCR検査等においても行政に協力している点も評価できる。 また、日曜健診を実施していることが評価できる。</p>
R 1	R 2	R 3								
69名	81名	50名								

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>																																																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子宮細胞診については直接塗抹法から液状検体法に改めた。</li> <li>・ 喀痰細胞診についてはダブルスクリーニングを行うよう改めた。</li> </ul>																																																							
		<p>総合健診センター部 受診者数 (単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,148</td> <td>1,250</td> <td>1,252</td> </tr> <tr> <td>1日+MR I</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>1,856</td> <td>1,913</td> <td>2,051</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>2,087</td> <td>1,970</td> <td>1,957</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>629</td> <td>617</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>定期健診 (下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)</td> <td>712</td> <td>718</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>59</td> <td>37</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>その他 (企業健診他)</td> <td>690</td> <td>870</td> <td>774</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,231</td> <td>7,424</td> <td>7,384</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断収益の推移 単位：千円 (税抜)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診断収益</td> <td>101,989</td> <td>104,341</td> <td>104,990</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導の実施率について、県職員・県警察職員については、引き続き100%達成することができた。            教職員については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がみられた一方で、令和3年度から当院が導入したズームによる遠隔指導 (実績：2件) の実施により、実施率は やや向上した。            協会けんぽについては令和2年度に大きく実施率が下降した。これは、個々の受診者の健診センター滞在時間をできるだけ短くするなどの感染予防対策を講じた一方で、一定の検査結果の判明を踏まえて実施する健診当日の初回面接が時間的に間に合わなかったケースなどもあり、令和3年度についても実施率に大きな変化は見られなかった。</p>			R 1	R 2	R 3	1日ドック	1,148	1,250	1,252	1日+MR I	48	49	43	脳ドック	2	0	0	生活習慣病予防健診	1,856	1,913	2,051	下呂市がん検診	2,087	1,970	1,957	下呂市特定・すこやか健診	629	617	542	定期健診 (下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)	712	718	720	下呂市肝炎ウイルス検査	59	37	45	その他 (企業健診他)	690	870	774	合計	7,231	7,424	7,384		R 1	R 2	R 3	健康診断収益	101,989	104,341	104,990		
	R 1	R 2	R 3																																																						
1日ドック	1,148	1,250	1,252																																																						
1日+MR I	48	49	43																																																						
脳ドック	2	0	0																																																						
生活習慣病予防健診	1,856	1,913	2,051																																																						
下呂市がん検診	2,087	1,970	1,957																																																						
下呂市特定・すこやか健診	629	617	542																																																						
定期健診 (下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)	712	718	720																																																						
下呂市肝炎ウイルス検査	59	37	45																																																						
その他 (企業健診他)	690	870	774																																																						
合計	7,231	7,424	7,384																																																						
	R 1	R 2	R 3																																																						
健康診断収益	101,989	104,341	104,990																																																						

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>																																																																												
		特定保健指導実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実 数</td> <td>164 件</td> <td>134 件</td> <td>138 件</td> </tr> </tbody> </table> 特定保健指導実施率 (単位：%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県職員</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>県警察職員</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>83.9</td> <td>75.8</td> <td>77.8</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>48.6</td> <td>32.0</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>市町村職員</td> <td>77.8</td> <td>78.6</td> <td>75.0</td> </tr> </tbody> </table> 脳MRI、胸部CT、腹部CT等 がん検査受診者数 (単位：名) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MRI</td> <td>125</td> <td>116</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>152</td> <td>110</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>139</td> <td>101</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>全身MRI・CT</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前立腺MRI(※2)</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>17</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AICS 検査(※1・2)</td> <td>50</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>525</td> <td>368</td> <td>374</td> </tr> </tbody> </table> ※1 アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査 ※2 当該検査については令和元年度末で廃止			区 分	R 1	R 2	R 3	実 数	164 件	134 件	138 件		R 1	R 2	R 3	県職員	100	100	100	県警察職員	100	100	100	教職員	83.9	75.8	77.8	協会けんぽ	48.6	32.0	35.0	市町村職員	77.8	78.6	75.0	項 目	R 1	R 2	R 3	脳MRI	125	116	111	胸部CT	152	110	107	腹部CT	139	101	107	全身MRI・CT	36	32	39	大腸CT	3	1	0	前立腺MRI(※2)	3	—	—	もの忘れドック	17	8	10	AICS 検査(※1・2)	50	—	—	計	525	368	374		
区 分	R 1	R 2	R 3																																																																											
実 数	164 件	134 件	138 件																																																																											
	R 1	R 2	R 3																																																																											
県職員	100	100	100																																																																											
県警察職員	100	100	100																																																																											
教職員	83.9	75.8	77.8																																																																											
協会けんぽ	48.6	32.0	35.0																																																																											
市町村職員	77.8	78.6	75.0																																																																											
項 目	R 1	R 2	R 3																																																																											
脳MRI	125	116	111																																																																											
胸部CT	152	110	107																																																																											
腹部CT	139	101	107																																																																											
全身MRI・CT	36	32	39																																																																											
大腸CT	3	1	0																																																																											
前立腺MRI(※2)	3	—	—																																																																											
もの忘れドック	17	8	10																																																																											
AICS 検査(※1・2)	50	—	—																																																																											
計	525	368	374																																																																											
08	2 専攻医の育成等 専門研修プログラムの連携施設として基幹施設からの専攻医の受入れを積極的に行い、専門医研	2 専攻医の育成等 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施した。			Ⅲ	常勤職員として採用した研修医が研修終了後も引き続き勤務したことは十分評価でき																																																																								

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己評価																																																																							
	修に協力する。	<p>見学を希望する医学生16名に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。 平成24年度、平成29年度及び令和元年度に常勤職員として採用した初期臨床研修医2名については、それぞれ当院の内科医及び整形外科医として引き続き勤務している。</p> <p>専門研修プログラムの連携施設として、岐阜県総合医療センター及び岐阜大学医学部附属病院から、内科専攻医4名、小児科専攻医3名を受け入れた。</p>		る。																																																																						
09	<p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>看護学生の病院実習の受入体制を充実するとともに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等のコメディカルを目指す学生を積極的に受け入れる。</p>	<p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○ 医学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>75名</td> <td>75名</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2名</td> <td>1名中止</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84名</td> <td>82名</td> <td>84名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ コメディカル等の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>7名</td> <td>6名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>-名</td> <td>-名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> <td>-名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1名</td> <td>-名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>-名</td> <td>-名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>医療事務</td> <td>1名</td> <td>-名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12名</td> <td>7名</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 特別支援学校生徒の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R1	R2	R3	医学生	0名	0名	0名	学校名	R1	R2	R3	下呂看護専門学校	75名	75名	78名	岐阜県立看護大学	7名	7名	6名	その他	2名	1名中止	0名	計	84名	82名	84名	職種	R1	R2	R3	理学療法士	7名	6名	11名	作業療法士	2名	1名	4名	言語聴覚士	-名	-名	0名	薬剤師	1名	-名	0名	管理栄養士	1名	-名	0名	社会福祉士	-名	-名	0名	医療事務	1名	-名	0名	計	12名	7名	15名	R1	R2	R3	1名	1名	0名	III	<p>岐阜大学医学部地域枠学生のために、院外臨床実習を令和5年度から、担当することを是非前向きに検討されたい。</p>
項目	R1	R2	R3																																																																							
医学生	0名	0名	0名																																																																							
学校名	R1	R2	R3																																																																							
下呂看護専門学校	75名	75名	78名																																																																							
岐阜県立看護大学	7名	7名	6名																																																																							
その他	2名	1名中止	0名																																																																							
計	84名	82名	84名																																																																							
職種	R1	R2	R3																																																																							
理学療法士	7名	6名	11名																																																																							
作業療法士	2名	1名	4名																																																																							
言語聴覚士	-名	-名	0名																																																																							
薬剤師	1名	-名	0名																																																																							
管理栄養士	1名	-名	0名																																																																							
社会福祉士	-名	-名	0名																																																																							
医療事務	1名	-名	0名																																																																							
計	12名	7名	15名																																																																							
R1	R2	R3																																																																								
1名	1名	0名																																																																								

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>																										
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下呂市内中学生の体験受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の3中学校から、将来医療に携わりたいと考えている生徒計3名の職業体験を受け入れた。</li> </ul> </li> <li>○ 弥富看護学校の見学実習について <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習が中止となった。</li> </ul> </li> <li>○ 下呂看護専門学校への講師派遣 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師、歯科医師</td> <td>10 名</td> <td>8 名</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7 名</td> <td>8 名</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6 名</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23 名</td> <td>21 名</td> <td>21 名</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>			職 種	R 1	R 2	R 3	医師、歯科医師	10 名	8 名	8 名	看護師	7 名	8 名	8 名	コメディカル	6 名	5 名	5 名	計	23 名	21 名	21 名				
職 種	R 1	R 2	R 3																									
医師、歯科医師	10 名	8 名	8 名																									
看護師	7 名	8 名	8 名																									
コメディカル	6 名	5 名	5 名																									
計	23 名	21 名	21 名																									
10	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>二次救急医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部と当院医師及びコメディカルとの情報交換会を開催し、症例発表や講演会を通じた地域メディカルコントロールの連携強化を図る。</p> <p>また、飛騨地域メディカルコントロール協議会感染防止部会に参加し、共同して病院前救護における感染対策活動に取り組む。</p> <p>さらに、病診連携を推進し、開業医との情報交換を積極的に行うとともに、医療機器の共同利用や開放型病床の利用促進により地域医療の向上を図る。</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>飛騨及び中濃地域のへき地診療所や医師不足地域の医療機関等への診療支援を行う。</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を務めるなどしている。</p> <p>また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を毎月開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。</p> <p>飛騨地域メディカルコントロール協議会の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会議（WEB）：2回（7月16日、11月29日）</li> <li>・ 感染対策研修会（WEB）：1回（11月29日）</li> <li>・ 高山消防署のラウンド調査：12月20日</li> </ul> <p>○ 当院医療機器の地域開業医等の共同利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>R1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>128 件</td> <td>127 件</td> <td>129 件</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td>21 件</td> <td>10 件</td> <td>35 件</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>153 件</td> <td>141 件</td> <td>167 件</td> </tr> </tbody> </table>	医療機器	R1	R 2	R 3	MR I	128 件	127 件	129 件	C T	21 件	10 件	35 件	心エコー	2 件	2 件	1 件	頸動脈エコー	2 件	2 件	2 件	計	153 件	141 件	167 件	III	人的資源が少ない中で取り組まれた。
医療機器	R1	R 2	R 3																									
MR I	128 件	127 件	129 件																									
C T	21 件	10 件	35 件																									
心エコー	2 件	2 件	1 件																									
頸動脈エコー	2 件	2 件	2 件																									
計	153 件	141 件	167 件																									



項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己評価																																					
		<p>○ 開放型病床の導入</p> <p>医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、患者に対し安心した療養環境の提供が図られている。</p> <p>開放型病床利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (実人数)</td> <td>12名</td> <td>22名</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>180名・日</td> <td>286名・日</td> <td>407名・日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>○ へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保診療所</td> <td>外科</td> <td>延12日</td> <td>延12日</td> <td>延0日</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>延0日</td> <td>延0日</td> <td>延0日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母子健康センター</td> <td>産婦人科</td> <td>延21日</td> <td>延20日</td> <td>延20日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>延33日</td> <td>延32日</td> <td>延20日</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R 1	R 2	R 3	利用者数 (実人数)	12名	22名	35名	利用延べ人数	180名・日	286名・日	407名・日	出向先	診療科	R 1	R 2	R 3	東白川村国保診療所	外科	延12日	延12日	延0日	整形外科	延0日	延0日	延0日	東白川村母子健康センター	産婦人科	延21日	延20日	延20日	合計		延33日	延32日	延20日		
項目	R 1	R 2	R 3																																					
利用者数 (実人数)	12名	22名	35名																																					
利用延べ人数	180名・日	286名・日	407名・日																																					
出向先	診療科	R 1	R 2	R 3																																				
東白川村国保診療所	外科	延12日	延12日	延0日																																				
	整形外科	延0日	延0日	延0日																																				
東白川村母子健康センター	産婦人科	延21日	延20日	延20日																																				
合計		延33日	延32日	延20日																																				
15	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところにより、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の対応経験も踏まえ、業務計画の定期的な見直しなどにより、全室個室化とすべての病室に窓があり、換気もとれる構造を活かした受入体制の充実を図るとともに、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を実施する。</p>	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月1日より新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けた。新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟については、保健所、関連医療機関と連携・情報共有しながら全室個室の強みを生かし、フェーズに応じて最大62床まで患者を受け入れる体制を整備し、飛騨圏域及び近隣圏域でクラスター感染した多くの入院患者に対応した。</li> </ul> <p>新型コロナ感染入院患者受入れ実績</p> <p>累計288名（※R2.11月からの累計）（令和3年度245名）</p> <p>新型コロナ患者発生届出数：141名（R3:195名）</p> <p>○ コロナ専用病床の確保</p> <p>感染対策を行い易くするよう、5床1ユニットでゾーニングと動線を決め、フェーズに応じた増床と減床を分かり易くした。疾患による専用病床数の変更はあるものの、今後、空気感染を除く別の新興感染症に対応する場合にも応用が可能となっ</p>	IV	<p>飛騨、下呂地域の基幹病院として、最大62床の患者受入体制を整備し、新型コロナウイルス感染症対応として十分に行ったことを特に評価する。</p>																																				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己 評価									
		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発熱外来の整備 発熱外来は外来CブロックとAブロックの感染症診察室をベースに駐車場整備とスタッフ配置によって、他の外来患者と時間的分離・空間的分離を図った。</li> <li>○ 業務継続計画について、新型コロナ対応連絡会議で検討した内容と、感染対策相互チェックで指摘された問題点について見直しを検討している。</li> <li>○ 支給された個人防護具について、感染対策室において種類、数量を管理し、経費節減に努めた。</li> <li>○ コロナ関連補助金を活用してHEPA フィルター付パーテーションを設置し、感染防止対策を図った。</li> </ul>										
22	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 複数年契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の合理化を図る。 また、より有利な契約交渉を実践していくために、ベンチマークシステムの導入、地域に隣接する他病院との共同購入体制の可否等を検討・協議する。 さらに、既に締結した保守契約については、委託期間、委託内容及びその方法を再度検証し、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部門長及び実施業者と内容及び必要性を精査しつつ、保守委託契約とスポット保守の比較検討を進めた。 引き続き、比較・分析を継続の上、複数年契約等も含めた有利な契約方針を決定していく必要がある。 電気需給契約については、引き続き節電等を行い、経費削減に努めている。 (単位：千円 税込)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>72,331</td> <td>64,355</td> <td>71,400</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、昨年度に引き続き、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換える等により経費削減に努めている。</li> <li>○ 次の維持管理業務については、3年間の複数年契約を締結しており、引き続き経費の節減に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警備業務、機械、監視室等保全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務、給食業務、臨床検査業務</li> </ul> </li> </ul>	区 分	R 1	R 2	R 3	電気料金	72,331	64,355	71,400	III	メンテナンス費用の削減等に努めている点は評価できる。
区 分	R 1	R 2	R 3									
電気料金	72,331	64,355	71,400									
25	<p>予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画 「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実</p>	<p>予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画 【経常収支比率】 経常収支比率について、収支計画の設定比率90.1%に対して、決算では98.8%となり、計画を達成できた。</p>	III	人口規模、立地条件、職員数等、経営に不利な要因が多々あなかで、人件費を削減することは困難であると予想されるた								

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>																																																																																																			
	<p>施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を早期に達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率75%以下を達成する。</p>	<p><b>【医業収支比率】</b>            医業収支比率について、収支計画の設定比率92.4%に対して、決算では101.5%となり、計画を達成でき、100%以上を達成した。</p> <p><b>【職員給与費対医業収益比率】</b>            職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率92.3%に対して、決算では106.9%となり、計画を達成できなかった。</p> <p>次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>1 予算に対する実績（予算執行状況）            （単位：百万円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">計画額</th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>収入</b></td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td style="text-align: right;">4,385</td> <td style="text-align: right;">4,678</td> <td style="text-align: right;">293</td> </tr> <tr> <td>  医業収益</td> <td style="text-align: right;">3,174</td> <td style="text-align: right;">2,794</td> <td style="text-align: right;">▲380</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">1,004</td> <td style="text-align: right;">1,118</td> <td style="text-align: right;">114</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">207</td> <td style="text-align: right;">766</td> <td style="text-align: right;">559</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td style="text-align: right;">59</td> <td style="text-align: right;">34</td> <td style="text-align: right;">▲25</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">46</td> <td style="text-align: right;">20</td> <td style="text-align: right;">▲26</td> </tr> <tr> <td>  その他営業外収益</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td style="text-align: right;">14</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td style="text-align: right;">672</td> <td style="text-align: right;">538</td> <td style="text-align: right;">▲134</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td style="text-align: right;">527</td> <td style="text-align: right;">405</td> <td style="text-align: right;">▲122</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td style="text-align: right;">145</td> <td style="text-align: right;">63</td> <td style="text-align: right;">▲82</td> </tr> <tr> <td>  その他資本収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">70</td> <td style="text-align: right;">70</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">5,116</td> <td style="text-align: right;">5,250</td> <td style="text-align: right;">134</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>支出</b></td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td style="text-align: right;">4,460</td> <td style="text-align: right;">4,281</td> <td style="text-align: right;">▲179</td> </tr> <tr> <td>  医業費用</td> <td style="text-align: right;">4,213</td> <td style="text-align: right;">4,057</td> <td style="text-align: right;">▲156</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td style="text-align: right;">2,696</td> <td style="text-align: right;">2,830</td> <td style="text-align: right;">134</td> </tr> <tr> <td>    材料費</td> <td style="text-align: right;">560</td> <td style="text-align: right;">471</td> <td style="text-align: right;">▲89</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td style="text-align: right;">937</td> <td style="text-align: right;">748</td> <td style="text-align: right;">▲189</td> </tr> <tr> <td>    研究研修費</td> <td style="text-align: right;">20</td> <td style="text-align: right;">8</td> <td style="text-align: right;">▲12</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td style="text-align: right;">247</td> <td style="text-align: right;">224</td> <td style="text-align: right;">▲23</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td style="text-align: right;">188</td> <td style="text-align: right;">145</td> <td style="text-align: right;">▲43</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	計画額	決算額	増減	<b>収入</b>				営業収益	4,385	4,678	293	医業収益	3,174	2,794	▲380	運営費負担金収益	1,004	1,118	114	その他営業収益	207	766	559	営業外収益	59	34	▲25	運営費負担金収益	46	20	▲26	その他営業外収益	13	14	1	資本収入	672	538	▲134	長期借入金	527	405	▲122	運営費負担金	145	63	▲82	その他資本収入	0	70	70	その他の収入	0	0	0	計	5,116	5,250	134	<b>支出</b>				営業費用	4,460	4,281	▲179	医業費用	4,213	4,057	▲156	給与費	2,696	2,830	134	材料費	560	471	▲89	経費	937	748	▲189	研究研修費	20	8	▲12	一般管理費	247	224	▲23	給与費	188	145	▲43		<p>め、同じ人件費（コスト）で収入の工夫し、結果的に職員給与費対医業収益比率の低下を目指されたい。</p>
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																		
<b>収入</b>																																																																																																					
営業収益	4,385	4,678	293																																																																																																		
医業収益	3,174	2,794	▲380																																																																																																		
運営費負担金収益	1,004	1,118	114																																																																																																		
その他営業収益	207	766	559																																																																																																		
営業外収益	59	34	▲25																																																																																																		
運営費負担金収益	46	20	▲26																																																																																																		
その他営業外収益	13	14	1																																																																																																		
資本収入	672	538	▲134																																																																																																		
長期借入金	527	405	▲122																																																																																																		
運営費負担金	145	63	▲82																																																																																																		
その他資本収入	0	70	70																																																																																																		
その他の収入	0	0	0																																																																																																		
計	5,116	5,250	134																																																																																																		
<b>支出</b>																																																																																																					
営業費用	4,460	4,281	▲179																																																																																																		
医業費用	4,213	4,057	▲156																																																																																																		
給与費	2,696	2,830	134																																																																																																		
材料費	560	471	▲89																																																																																																		
経費	937	748	▲189																																																																																																		
研究研修費	20	8	▲12																																																																																																		
一般管理費	247	224	▲23																																																																																																		
給与費	188	145	▲43																																																																																																		

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																																																														
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>																																																																																																		
		経費	59	79	20																																																																																															
		営業外費用	80	80	0																																																																																															
		資本支出	696	860	164																																																																																															
		建設改良費	239	292	53																																																																																															
		償還金	274	270	▲4																																																																																															
		その他資本支出	182	298	116																																																																																															
		その他の支出	0	0	0																																																																																															
		計	5,236	5,221	▲15																																																																																															
		<p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。</p> <p>2 収支計画に対する実績 (損益計算書) (単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>4,427</td> <td>4,731</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>4,369</td> <td>4,657</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>3,158</td> <td>2,777</td> <td>▲381</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,004</td> <td>1,002</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td>    資産見返負債戻入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他営業収益</td> <td>206</td> <td>878</td> <td>672</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  臨時利益</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>費用の部</td> <td>4,914</td> <td>4,807</td> <td>▲107</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>4,727</td> <td>4,588</td> <td>▲139</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>4,480</td> <td>4,362</td> <td>▲118</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>2,745</td> <td>2,826</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>510</td> <td>453</td> <td>▲57</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>870</td> <td>694</td> <td>▲176</td> </tr> <tr> <td>      減価償却費</td> <td>337</td> <td>383</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>246</td> <td>226</td> <td>▲20</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>170</td> <td>143</td> <td>▲27</td> </tr> <tr> <td>    減価償却費</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>56</td> <td>62</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	4,427	4,731	304	営業収益	4,369	4,657	288	医業収益	3,158	2,777	▲381	運営費負担金収益	1,004	1,002	▲2	資産見返負債戻入	0	0	0	その他営業収益	206	878	672	営業外収益	58	59	1	運営費負担金収益	46	46	0	その他営業外収益	12	14	2	臨時利益	0	15	15	費用の部	4,914	4,807	▲107	営業費用	4,727	4,588	▲139	医業費用	4,480	4,362	▲118	給与費	2,745	2,826	81	材料費	510	453	▲57	経費	870	694	▲176	減価償却費	337	383	46	研究研修費	18	6	▲12	一般管理費	246	226	▲20	給与費	170	143	▲27	減価償却費	21	21	0	経費	56	62	6		
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																	
収益の部	4,427	4,731	304																																																																																																	
営業収益	4,369	4,657	288																																																																																																	
医業収益	3,158	2,777	▲381																																																																																																	
運営費負担金収益	1,004	1,002	▲2																																																																																																	
資産見返負債戻入	0	0	0																																																																																																	
その他営業収益	206	878	672																																																																																																	
営業外収益	58	59	1																																																																																																	
運営費負担金収益	46	46	0																																																																																																	
その他営業外収益	12	14	2																																																																																																	
臨時利益	0	15	15																																																																																																	
費用の部	4,914	4,807	▲107																																																																																																	
営業費用	4,727	4,588	▲139																																																																																																	
医業費用	4,480	4,362	▲118																																																																																																	
給与費	2,745	2,826	81																																																																																																	
材料費	510	453	▲57																																																																																																	
経費	870	694	▲176																																																																																																	
減価償却費	337	383	46																																																																																																	
研究研修費	18	6	▲12																																																																																																	
一般管理費	246	226	▲20																																																																																																	
給与費	170	143	▲27																																																																																																	
減価償却費	21	21	0																																																																																																	
経費	56	62	6																																																																																																	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>				
		営業外費用	187	186	▲1	
		臨時損失	0	34	34	
		予備費	0	0	0	
		純利益	▲487	▲76	411	
		目的積立金取崩額	0	0	0	
		総利益	▲487	▲76	411	
		(注1) (略)				
		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円)				
		区 分	計画額	決算額	増減	
		資金収入	7,179	7,480	301	
		業務活動による収入	4,443	4,772	329	
		診療業務による収入	3,174	2,787	▲387	
		運営費負担金による収入	1,050	1,059	9	
		その他の業務活動による収入	219	927	708	
		投資活動による収入	114	126	12	
		運営費負担金による収入	9	7	▲2	
		その他の投資活動による収入	105	119	14	
		財務活動による収入	664	542	▲122	
		長期借入による収入	527	405	▲122	
		その他の財務活動による収入	136	137	1	
		前事業年度からの繰越金	1,958	2,040	82	
		資金支出	7,179	7,480	301	
		業務活動による支出	4,540	4,310	▲230	
		給与費支出	2,884	2,921	37	
		材料費支出	560	470	▲90	
		その他の業務活動による支出	1,096	919	▲177	
		投資活動による支出	514	592	78	
		有形固定資産の取得による支出	331	295	▲36	
		その他の投資活動による支出	182	298	116	
		財務活動による支出	274	270	▲4	
		長期借入金の返済による支出	194	190	▲4	
		移行前地方債償還債務の償還による支出	80	80	0	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点（●）</li> </ul>													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">その他財務活動による支出</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td style="text-align: center;">1,851</td> <td style="text-align: center;">2,309</td> <td style="text-align: center;">458</td> <td></td> </tr> </table>	その他財務活動による支出	0	0	0		翌事業年度への繰越金	1,851	2,309	458				
その他財務活動による支出	0	0	0												
翌事業年度への繰越金	1,851	2,309	458												
		(注1) (略)													
27	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携</p> <p>医師の診療応援や医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の人事交流等、岐阜県及び岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。</p>	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携</p> <p>県総合医療センターからは、内科については、年間を通じて四半期ごとの専攻医1名を常勤で受け入れ、常勤医師のいない診療科については、応援医の派遣を受けている。ほかに、視能訓練士（年間）の派遣を受けた。一方、当院から県総合医療センターへは、内科医師を出向（期間限定）させた。</p> <p>令和3年度末に県総合医療センターで定年を迎えた技師長1名について、その専門性を考慮し、当院で非常勤職員として雇用した。</p> <p>また、県（医療整備課等）及び4法人（3病院・看護大）の会議は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったが、他の2病院とは、運営に当たり、情報交換を行うなどした。</p>				III	より他の地方独立行政法人へ人的支援を要請してはいか								
29	<p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化</p> <p>災害等危機管理事案発生時には、理事長がリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応できる環境を整備するとともに、透明性の確保に努める。</p> <p>また、病院全体で対応できるよう、幹部会などを活用した速やかな情報共有体制を維持・継続する。</p>	<p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応においては、理事長をトップとする「新型コロナウイルス感染症対策会議」において、運用・対応方針を決定するとともに、関係部署に情報共有・対応を指示し、新型コロナウイルス感染症入院患者の受入れ、対策等に積極的に関わった。</p>				IV	新型コロナウイルス感染症対応が理事長をトップとして適切に行われている点が十分評価できる。								